



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL <http://www.jcm-hq.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,995	△2.0	963	△16.1	1,064	88.0	453	12.4
29年3月期第2四半期	15,298	5.5	1,147	85.6	566	△19.7	403	△13.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 218百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △1,645百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	15.70	15.70
29年3月期第2四半期	14.99	14.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	39,878	32,210	80.7	1,086.27
29年3月期	39,755	28,937	72.7	1,080.96

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 32,199百万円 29年3月期 28,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	8.50	-	8.50	17.00
30年3月期	-	8.50	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	5.2	1,550	△11.5	1,550	1.1	1,050	3.8	35.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	29,662,851株	29年3月期	29,662,851株
30年3月期2Q	20,918株	29年3月期	2,920,750株
30年3月期2Q	28,892,025株	29年3月期2Q	26,938,704株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国・欧州ともに雇用情勢の改善を背景に、個人消費を中心として回復基調が持続いたしました。また、国内経済は、地政学的リスクの高まりによる影響が懸念されるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を受けて、緩やかな景気回復が続きました。

当社グループを取り巻く環境について、ゲーミング市場では、北米地域における新設カジノの減少に加え、ドイツにおける法規制に伴う市場の縮小に対する懸念もあり需要は軟調に推移いたしました。また、コマーシャル（金融・流通・交通等）市場では、特に欧州や国内において堅調な需要が見られました。日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、遊技機規則の改正などの影響による先行きの不透明感から、設備投資の抑制傾向が続きました。

このような状況において、当社グループは、ゲーミング市場向けには、厳しい価格競争の中、入替需要の確保に努め、コマーシャル市場向けには、国内外を問わず高付加価値製品の販売を推進いたしました。また、遊技場向機器市場向けには、昨年実施した事業譲受けによる製品ラインナップの強化を通じて市場シェアの維持・拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、主力のゲーミング市場における売上減少の影響が響き、当第2四半期連結累計期間における売上高は、149億95百万円（前年同四半期比2.0%減）となり、また、利益面でも、営業利益は9億63百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。一方、経常利益は、外貨建資産に係る為替時価換算差益の計上などにより、10億64百万円（前年同四半期比88.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億53百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。

なお、当第2四半期の為替レートは、米ドル112.13円（前年同四半期は111.79円）、ユーロは122.25円（前年同四半期は124.24円）で推移いたしました。また、決算期末の時価評価に適用する期末日為替レートは、米ドル112.74円（前連結会計年度112.18円）でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米地域では紙幣識別機ユニット等の需要が減少し、また、欧州地域ではドイツにおける法改正に伴い買替需要が低下したことなどにより、当セグメントの売上高は77億60百万円（前年同四半期比9.1%減）、セグメント利益は14億77百万円（前年同四半期比18.8%減）となりました。

②海外コマーシャル

北米金融市場向け紙幣識別機ユニットの販売は減少いたしました。また、欧州向けの販売が堅調であったことなどにより、当セグメントの売上高は20億74百万円（前年同四半期比10.1%増）となり、セグメント利益は3億10百万円（前年同四半期比113.9%増）となりました。

③国内コマーシャル

OEM顧客向けの貨幣処理機器ユニットの販売が好調であったことなどにより、当セグメントの売上高は11億29百万円（前年同四半期比15.4%増）となり、セグメント利益は1億14百万円（前年同四半期比160.4%増）となりました。

④遊技場向機器

メダル自動補給システムなど主力製品の販売は減少いたしました。また、事業譲受けに伴い取扱製品及び顧客層が拡大したことなどにより、当セグメントの売上高は40億31百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。しかしながら、当初の想定より売上が伸び悩んだことなどにより、セグメント損失は19百万円（前年同四半期は95百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、398億78百万円となりました。「現金及び預金」が「短期借入金」の返済により減少した一方で、新株予約権を利用した資金調達により増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、76億67百万円となりました。「短期借入金」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ31億50百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、322億10百万円となりました。新株予約権の行使による自己株式の処分により、「自己株式」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ32億73百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間では、仕入債務の減少2億82百万円などの資金の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益8億40百万円、減価償却費4億80百万円などの資金の増加がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは6億41百万円の資金の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出3億89百万円などの資金の減少がありましたが、4億5百万円の資金の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、短期借入金の返済による支出27億66百万円、配当金の支払額2億26百万円などの資金の減少がありましたが、新株予約権の行使による自己株式の処分による収入32億79百万円などの資金の増加がありましたので、2億47百万円の資金の収入となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額11百万円の資金の減少がありましたが、現金及び現金同等物は76億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億71百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想数値につきましては、平成29年5月11日付にて発表した業績予想数値から変更はありませんが、今後の需要動向などにより業績への影響が生じたときは内容を確認し、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,166,931	7,638,623
受取手形及び売掛金	6,013,379	5,947,597
有価証券	23,309	78,456
商品及び製品	8,039,619	7,324,925
仕掛品	639,501	952,538
原材料及び貯蔵品	2,706,568	2,960,836
その他	1,747,447	1,567,274
貸倒引当金	△212,194	△196,422
流動資産合計	26,124,563	26,273,830
固定資産		
有形固定資産	4,991,188	5,142,331
無形固定資産		
のれん	2,291,518	2,120,269
技術資産	391,124	337,670
顧客関連資産	3,374,108	3,115,476
商標権	451,267	417,502
その他	128,633	131,731
無形固定資産合計	6,636,651	6,122,651
投資その他の資産		
その他	2,059,157	2,394,686
貸倒引当金	△56,025	△55,196
投資その他の資産合計	2,003,132	2,339,490
固定資産合計	13,630,971	13,604,473
資産合計	39,755,535	39,878,303
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,161,879	2,804,165
短期借入金	3,703,538	913,194
未払法人税等	224,871	213,965
賞与引当金	381,654	400,544
役員賞与引当金	21,000	9,000
その他	2,624,066	2,540,530
流動負債合計	10,117,009	6,881,399
固定負債		
その他	701,097	786,453
固定負債合計	701,097	786,453
負債合計	10,818,107	7,667,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,759,048
利益剰余金	27,070,148	27,296,537
自己株式	△2,629,621	△18,849
株主資本合計	28,726,436	32,253,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,098	474,660
為替換算調整勘定	△23,427	△529,170
その他の包括利益累計額合計	180,670	△54,509
新株予約権	30,320	11,277
純資産合計	28,937,428	32,210,450
負債純資産合計	39,755,535	39,878,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	15,298,011	14,995,819
売上原価	9,368,895	9,104,589
売上総利益	5,929,115	5,891,230
割賦販売未実現利益戻入額	30,772	25,206
割賦販売未実現利益繰入額	—	11,420
差引売上総利益	5,959,887	5,905,015
販売費及び一般管理費	4,812,015	4,941,512
営業利益	1,147,872	963,503
営業外収益		
受取利息	4,595	1,624
受取配当金	11,151	14,085
為替差益	—	96,108
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	67,000	—
その他	25,897	13,356
営業外収益合計	108,643	125,175
営業外費用		
支払利息	17,791	22,220
為替差損	663,817	—
その他	8,733	2,053
営業外費用合計	690,341	24,274
経常利益	566,174	1,064,404
特別利益		
固定資産売却益	341	343
投資有価証券売却益	—	3,786
負ののれん発生益	314,000	—
特別利益合計	314,341	4,130
特別損失		
固定資産売却損	54	—
固定資産除却損	3,012	198
訴訟関連費用	—	227,893
特別損失合計	3,067	228,092
税金等調整前四半期純利益	877,449	840,443
法人税、住民税及び事業税	520,481	352,879
法人税等調整額	△46,780	33,865
法人税等合計	473,700	386,745
四半期純利益	403,749	453,697
親会社株主に帰属する四半期純利益	403,749	453,697

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	403,749	453,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,584	270,562
為替換算調整勘定	△2,033,583	△505,743
その他の包括利益合計	△2,049,167	△235,180
四半期包括利益	△1,645,418	218,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,645,418	218,517
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	877,449	840,443
減価償却費	469,506	480,121
のれん償却額	99,499	94,753
負ののれん発生益	△314,000	—
引当金の増減額(△は減少)	△18,570	△16,471
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,786
受取利息及び受取配当金	△15,746	△15,710
支払利息	17,791	22,220
為替差損益(△は益)	517,500	△89,072
有形固定資産除売却損益(△は益)	2,725	△145
訴訟関連費用	—	227,893
売上債権の増減額(△は増加)	△937,973	△56,735
たな卸資産の増減額(△は増加)	△218,532	33,079
仕入債務の増減額(△は減少)	418,572	△282,758
未収消費税等の増減額(△は増加)	162,117	59,040
その他	186,426	△205,939
小計	1,246,766	1,086,932
利息及び配当金の受取額	16,089	15,365
利息の支払額	△17,791	△22,220
訴訟関連費用の支払額	—	△137,293
法人税等の支払額	△369,988	△300,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	875,076	641,802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	94	65
有形固定資産の取得による支出	△129,693	△389,709
有形固定資産の売却による収入	1,237	352
無形固定資産の取得による支出	△8,990	△20,082
投資有価証券の取得による支出	△12,251	△1,131
投資有価証券の売却による収入	—	4,834
事業譲受による収入	306,000	—
その他	200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	156,597	△405,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△515,550	△2,766,720
配当金の支払額	△229,968	△226,795
リース債務の増加による収入	2,926	1,605
リース債務の返済による支出	△55,075	△39,684
自己株式の取得による支出	△300,050	△193
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	3,279,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,097,717	247,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△682,507	△11,951
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△748,552	471,691
現金及び現金同等物の期首残高	8,794,795	7,146,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,046,243	7,618,623

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による自己株式の処分により、資本剰余金が690,084千円増加し、自己株式が2,610,965千円減少しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金は2,759,048千円、自己株式は18,849千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,539,972	1,884,508	978,293	3,895,237	15,298,011	—	15,298,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,539,972	1,884,508	978,293	3,895,237	15,298,011	—	15,298,011
セグメント利益	1,819,581	144,963	43,962	95,554	2,104,061	△956,189	1,147,872

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

遊技場向機器セグメントにおいて、シルバー電研株式会社からの事業譲受に伴い、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益314,000千円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,760,977	2,074,430	1,129,101	4,031,309	14,995,819	—	14,995,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,760,977	2,074,430	1,129,101	4,031,309	14,995,819	—	14,995,819
セグメント利益又は 損失(△)	1,477,229	310,057	114,478	△19,555	1,882,210	△918,707	963,503

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。